当初予算の概要 2023

消防・救急

火災予防

基本理念

住民に寄り添い、共に歩み
安全・安心で
住みよい街を目指して

消防行政運営

活気がある
職場づくり

可茂消防事務組合

目　次

1　予算規模　…1

2　歳入予算の概要　…2

（1）分担金　…3

（2）繰入金　…4

（3）組合債　…5

3　歳出予算の概要　…6

4　主な事業内容　…7

（1）火災・救急　…7

（2）火災予防　…7

（3）消防行政運営　…8

（4）活気がある職場づくり　…8

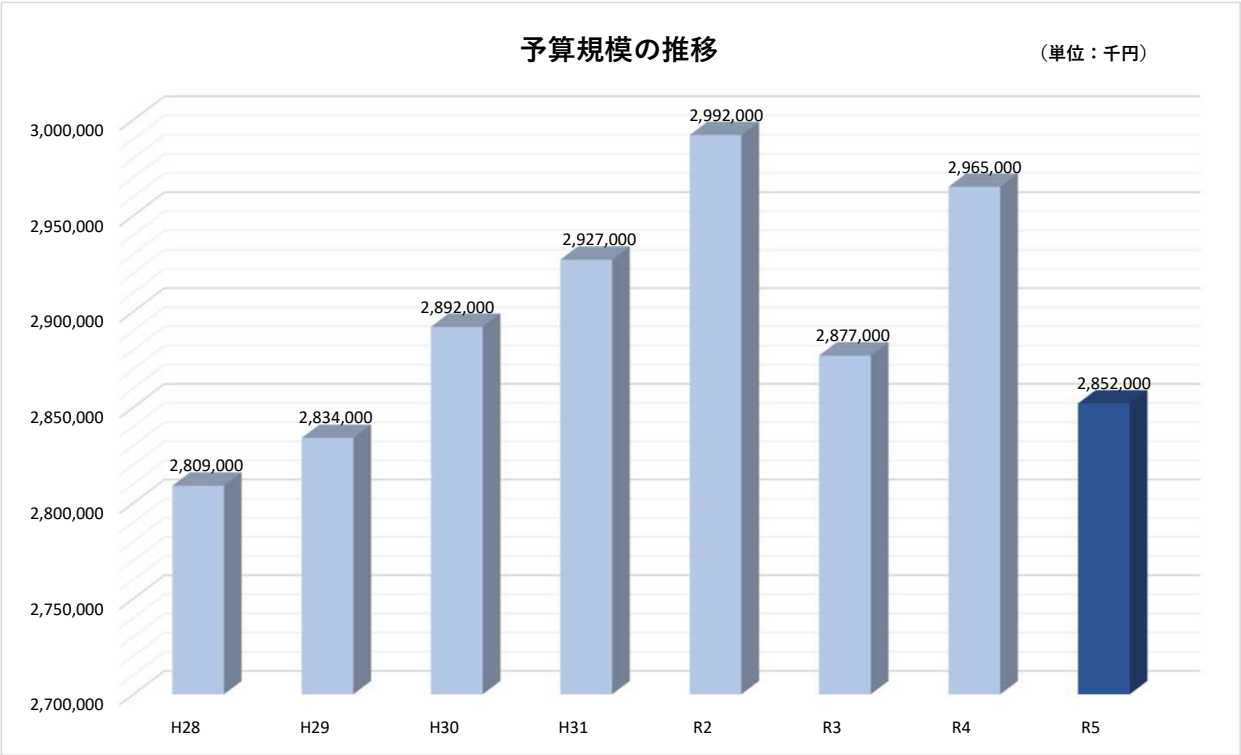
1　予算規模

令和5年度当初予算は、前年度と比較し、1億1,300万円減の28億5,200万円を計上しました。

主な事業は、南消防署西可児分署新庁舎整備事業（建設用地の取得及び庁舎の基本設計・実施設計）、中消防署救助工作車の更新、中消防署八百津出張所高規格救急車の更新などを行います。

【予算の規模】　（単位：千円）

年度／会計	令和5年度（A）	令和4年度（B）	比較	
			増減額(A-B)	増減率(%)
一般会計	2,852,000	2,965,000	△ 113,000	△ 3.8

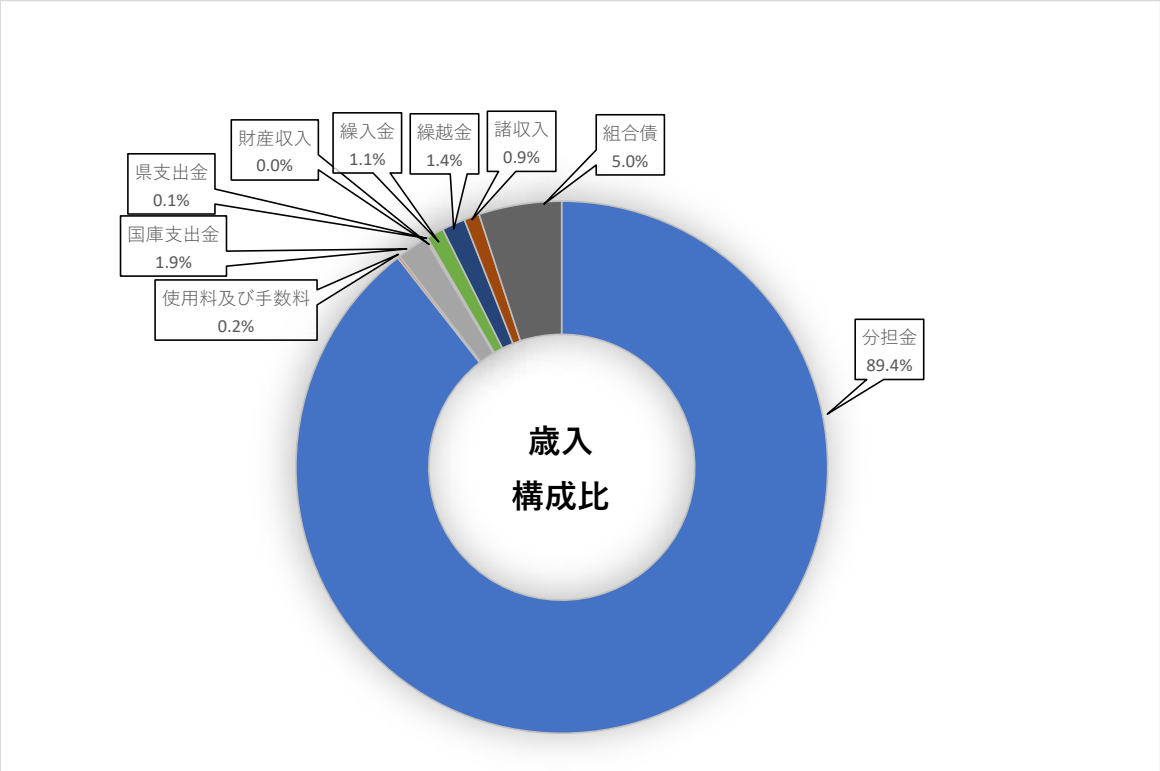


2　歳入予算の概要

分担金は、前年度と比較し、2,129万8千円減の25億5,054万3千円となり、歳入予算構成比は89.4％となりました。国庫支出金は、中消防署救助工作車（資機材含む）及び八百津出張所高規格救急車（資機材含む）の更新に伴う緊急消防援助隊設備整備費補助金を計上しました。県支出金は新型コロナウイルス感染症患者移送費負担金を計上しました。組合債は、前年度に高機能消防指令センター部分更新など大型事業の借入を行いましたが、令和5年度は、普通建設事業費が減少したことから、1億5,130万円減の1億4,370万円となりました。

【歳入予算】　（単位：千円）

区分	令和5年度		令和4年度		比較	
	予算額（A）	構成比(%)	予算額（B）	構成比(%)	増減額(A-B)	増減率(%)
1 分担金	2,550,543	89.4	2,571,841	86.7	△ 21,298	△ 0.8
2 使用料及び手数料	4,027	0.2	3,918	0.1	109	2.8
3 国庫支出金	52,683	1.9	0	0.0	52,683	皆増
4 県支出金	3,500	0.1	0	0.0	3,500	皆増
5 財産収入	698	0.0	595	0.0	103	17.3
6 繰入金	30,000	1.1	30,000	1.0	0	0.0
7 繰越金	40,000	1.4	35,000	1.2	5,000	14.3
8 諸収入	26,849	0.9	28,646	1.0	△ 1,797	△ 6.3
9 組合債	143,700	5.0	295,000	10.0	△ 151,300	△ 51.3
合計	2,852,000	100.0	2,965,000	100.0	△ 113,000	△ 3.8



2-(1)　分担金

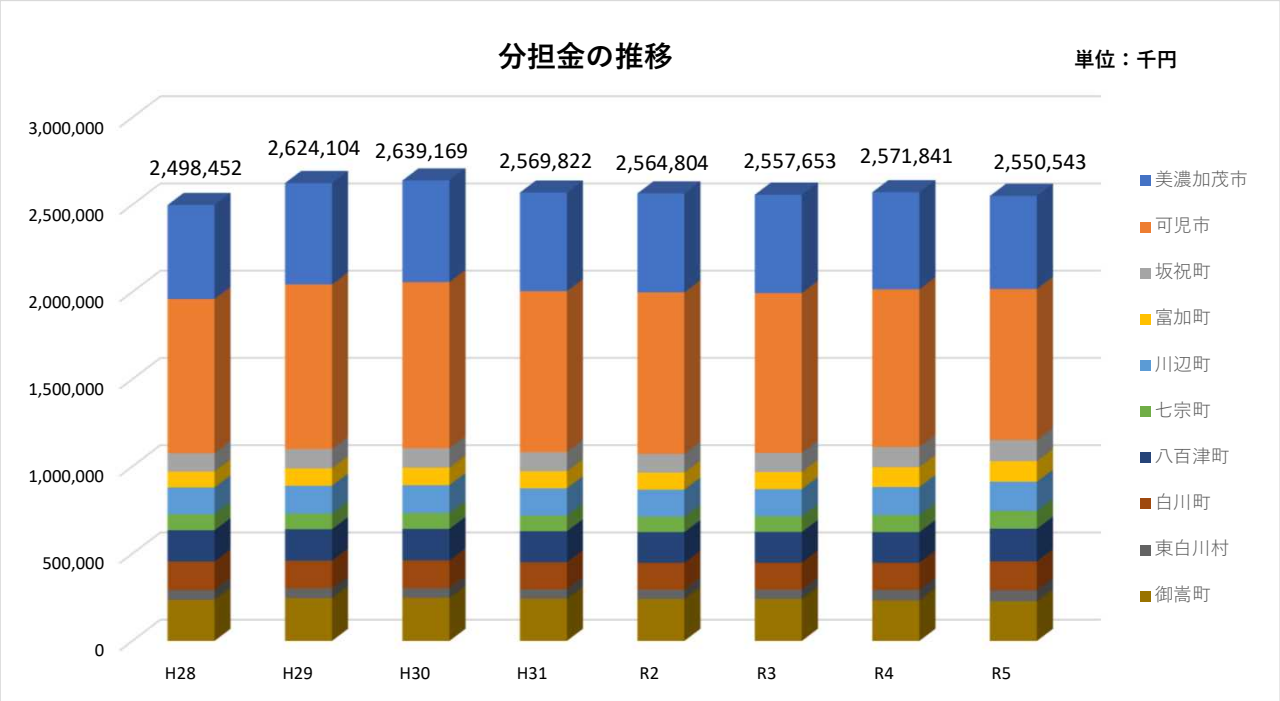
組合構成市町村からの分担金は、一般分担金と特別分担金の合計となり25億5,054万3千円計上し、前年度と比較し2,129万8千円の減少となりました。

一般分担金は、各市町村の前年度基準財政需要額（消防費）の割合により、算出しています。

特別分担金は、防災行政無線による火災放送に係る点検及び保守の経費を、実施市町で均等割りして算出しています。

【各構成市町村分担金の推移】　（単位：千円）

年度 / 市町村名	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減額（B-A）
美濃加茂市	566,893	563,709	556,722	533,054	△ 23,668
可児市	925,473	917,378	903,694	866,606	△ 37,088
坂祝町	108,268	108,777	115,557	121,117	5,560
富加町	97,132	98,154	113,776	117,146	3,370
川辺町	155,424	155,655	160,572	167,960	7,388
七宗町	88,029	89,525	97,603	101,474	3,871
八百津町	175,857	175,995	175,780	186,828	11,048
白川町	153,696	154,280	155,109	165,113	10,004
東白川村	53,599	54,076	60,948	64,031	3,083
御嵩町	240,433	240,104	232,080	227,214	△ 4,866
合計	2,564,804	2,557,653	2,571,841	2,550,543	△ 21,298



2-(2)　繰入金

当組合は、財政調整基金と消防施設整備基金の2つの基金を有しています。

令和5年度は、財政調整基金から前年度同額の3,000万円を繰入れます。

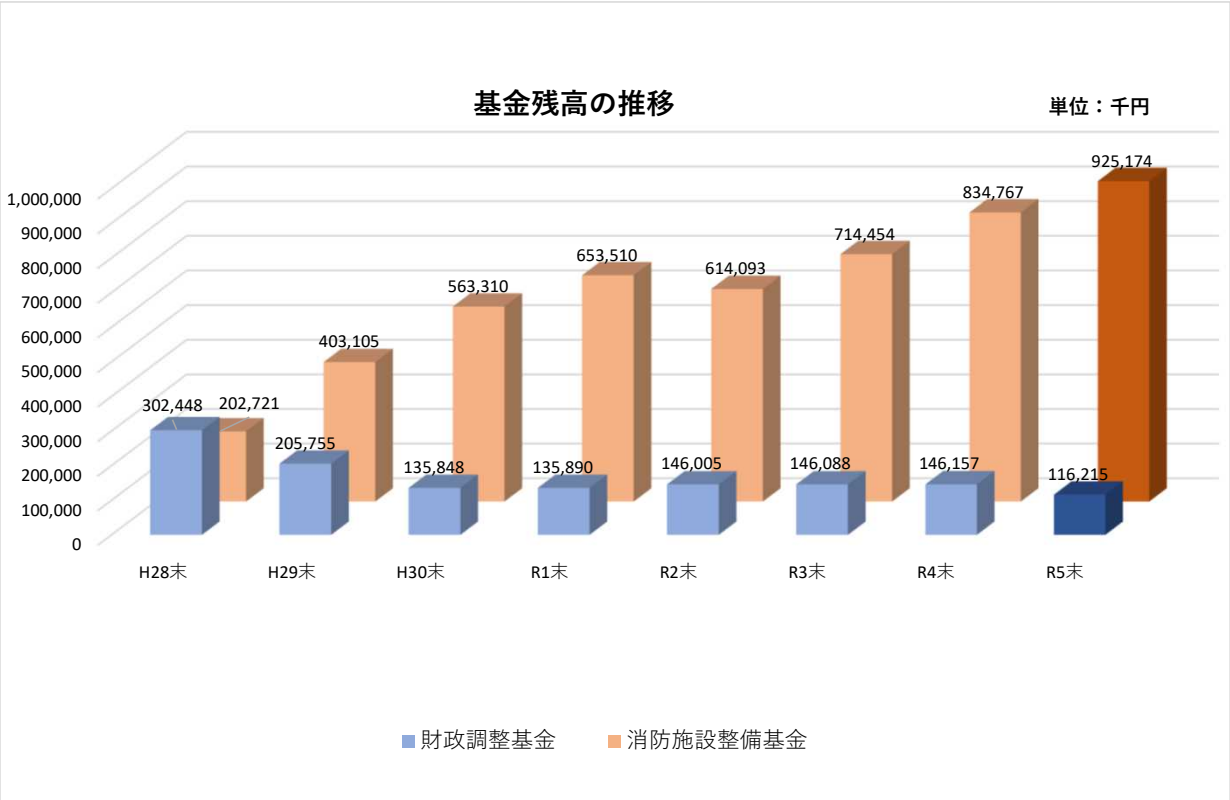
今後も庁舎の建設等が控えており、分担金の急激な上昇を抑えるために基金への積立を計画的に行います。

【基金繰入金の推移】　（単位：千円）

年度／基金	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減額（B-A）
財政調整基金	30,000	10,000	30,000	30,000	0
消防施設整備基金	100,000	20,000	0	0	0
合計	130,000	30,000	30,000	30,000	0

【基金別残高】　（単位：千円）

年度末／基金	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末 (A)	令和5年度末 (B)	増減額（B-A）
財政調整基金	146,005	146,088	146,157	116,215	△ 29,942
消防施設整備基金	614,093	714,454	834,767	925,174	90,407



※令和4年度末及び令和5年度末残高は見込額となります。

2 -(3)　組合債

令和5年度当初予算では、西可児分署新築工事に係る用地取得及び設計業務、中消防署救助工作車及び救助用資機材更新、八百津出張所高規格救急車及び高度救命処置用資機材更新に充てる1億4,370万円を計上しました。

令和5年度組合債の残高は、8億8,212万1千円となる見込みです。

【組合債の推移】　（単位：千円）

種類＼年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減額（B-A）
車　両　整　備	103,400	11,300	14,900	66,000	51,100
施　設　整　備	9,000	196,600	172,700	77,700	△ 95,000
合　　計	112,400	207,900	187,600	143,700	△ 43,900

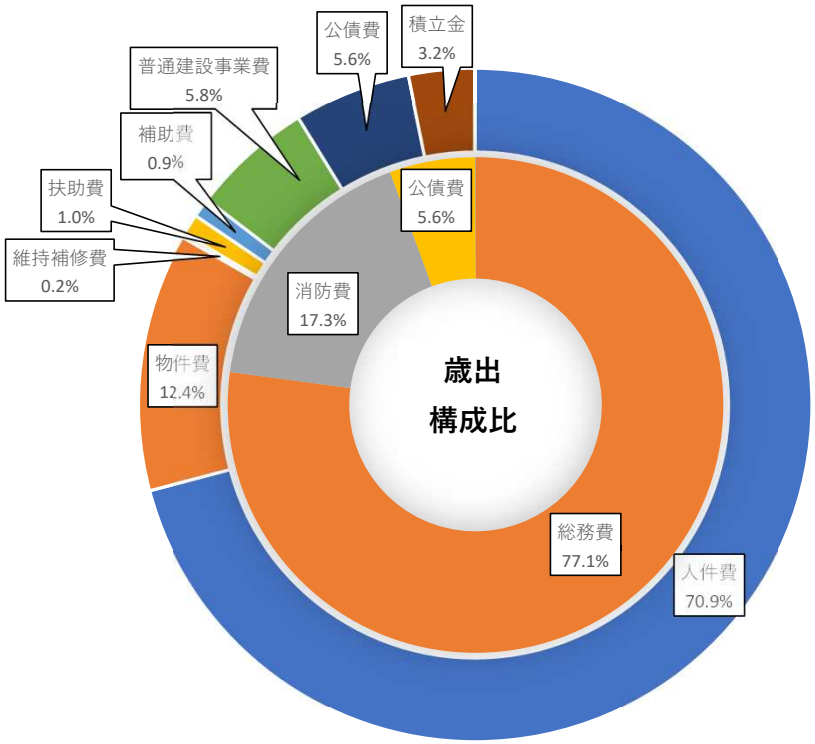
※令和4年度末及び令和5年度末残高は見込額となります。

3　歳出予算の概要

議会費は、前年度同額の19万9千円、総務費は、給料改定による人件費の増加や燃料費の高騰に伴う光熱水費の増額を見込み、1,719万7千円増の21億9,951万4千円となりました。消防費は、前年度に高機能消防指令センター部分更新などの大型事業を行ったことから、1億6,242万6千円減の4億9,256万8千円となりました。公債費は、新たに５つの事業の償還が始まったため、3,222万9千円増の1億5,921万9千円となりました。予備費は、前年度同額の50万円を計上しました。

【歳入予算】　（単位：千円）

区分	令和5年度		令和4年度		比較	
	予算額（A）	構成比(%)	予算額（B）	構成比(%)	増減額(A-B)	増減率(%)
1 議　会　費	199	0.0	199	0.0	0	0.0
2 総　務　費	2,199,514	77.1	2,182,317	73.6	17,197	0.8
3 消　防　費	492,568	17.3	654,994	22.1	△ 162,426	△ 24.8
4 公　債　費	159,219	5.6	126,990	4.3	32,229	25.4
5 予　備　費	500	0.0	500	0.0	0	0.0
合計	2,852,000	100.0	2,965,000	100.0	△ 113,000	△ 3.8



内：款別割合　外：性質別割合

4　主な事業内容

(1)　火　災・救　急

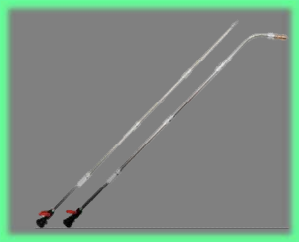
火災対応資器材の更新及び配備

〇熱画像直視装置 5 台

人命検索や火点検索など、視界が悪い状況で熱を可視化する資器材を配備し、煙の中の要救助者や火点を早期に発見、鎮圧し、火災による被害の軽減を図ります。

〇エクステンションノズル 3 式

近年の住宅は、高気密・高断熱住宅が増加傾向にあり、住宅火災において壁や天井裏に火が入ると鎮火まで時間を要し、被害が拡大する傾向にあります。そのため、エクステンションノズルを配備し、壁や天井に差し込み消火することにより、被害の軽減を図ります。



救急資器材の更新

〇AED　3台

現在使用しているAEDの使用期限が終了するため、AEDを更新します。

〇オゾンガス発生装置及びオゾン製水器　各1台

現在配備しているオゾンガス発生装置及びオゾン製水器を更新します。

(2)　火　災　予　防

火災予防啓発関係

〇防火管理者講習用テキスト

多数の方が利用される建物など、火災による被害の軽減を図るため、消防法に基づく防火管理上必要な資格を取得するための講習に用いるテキストです。

火災原因調査関係

〇実証実験材料費

実証実験を実施することにより、火災原因調査技術及び火災原因の究明率の向上を図ります。

4　主な事業内容

(3) 消防行政運営

庁舎関係

○西可児分署新庁舎整備事業

　昭和54年に建設された南消防署西可児分署は、建設から43年経過しており耐震機能が現在の基準を満たしていないことから新築します。

　令和5年度は、用地の取得及び庁舎の基本設計・実施設計を行います。

車両更新関係

○中消防署救助工作車及び資機材の更新

　平成15年に配備した救助工作車及び救助用資機材を車両整備計画に基づき更新します。

○八百津出張所高規格救急車及び資機材の更新

　平成25年の更新以降、患者を安全、迅速に搬送してきた救急車及び資機材の配備後10年が経過するため、車両整備計画に基づき更新します。

(4) 活気がある職場づくり

DX推進関係

○年末調整の電子化

　電子化によってヒューマンエラーのリスクを大幅に減少でき、控除額の計算などの作業が不要となり、確認作業全般が簡素化されます。

当初予算の概要 2023

可茂消防事務組合消防本部総務課財政係
〒505-0044　岐阜県美濃加茂市加茂川町3丁目7-7
☎ 0574-26-0144（代表）